

# 第20号

○発行日：平成25年8月1日(木)  
○発行：東京都合気道連盟  
〒162-0056  
東京都新宿区若松町17番18号  
(公財)合気会内  
電話：03-6457-3315  
FAX：03-6457-3317  
発行人：藤城 清次郎  
編集責任者：小林 正明

# 合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



## 東京都合気道連盟主要行事スケジュール

### ①合気道広域合同稽古

第3回平成25年9月26日(木)18:30~20:30 場所：東京武道館  
講師 桂田英路(公財)合気会本部道場指導部師範  
第4回平成25年11月21日(木)18:30~20:30 場所：東京武道館  
講師 伊藤 真(公財)合気会本部道場指導部師範

### ②体育の日記念行事

平成25年10月14日(月・祝) 場所：東京武道館  
10:00~12:00 演武発表会 14:30~16:30 公開指導

### ③平成25年度東京都合気道演武大会

平成25年10月20日(日) 場所：東京武道館

# 東京都合気道連盟評議委員会開催

平成二十五年度第二十九回東京都合気道連盟評議委員会は四月十三日（土）東京・神田ツ橋の日本教育会館九階飛鳥の間において、午後三時から加盟団体評議員五十四名、委任状八十六名をもって開催された。会議は尾崎响理事長が議長となり議事に入った。

初めに「平成二十四年度事業報告」が酒井光雄副理事長から報告された。続いて菅原繁副理事長から「平成二十四年度の収支決算」、中村文子監事から「会計監査」が報告され、出席者全員に承認された。そして今回は、三年の任期満了にともなう役員改選でもあり、別室での協議の結果、新役員が決定した。新たに選任された藤城清次郎理事長が議長となり「平成二十五年度事業計画案」が小林正明副理事長から「平成二十五年度収支予算案」が菅原繁副理事長よりそれぞれ説明され、これらも承認された。

評議委員会終了後、会場を移し情報交換会を開催、中山茂相談役の乾杯のあと

各団体の近況報告が行われ、なごやかな雰囲気の中終了した。

本評議委員会で役員は尾崎前理事長をはじめ六人が勇退、かわつて六人の新理事が選任された。今年度より藤城理事長の新体制で東京都合気道連盟は運営されることとなった。

議題は左記の通り

## 議 題

- (一) 平成二十四年度事業報告
- (二) 平成二十四年度会計報告
- (三) 監査報告
- (四) 役員改選
- (五) 平成二十五年度事業計画
- (六) 平成二十五年度収支予算
- (七) その他



## 理事長の就任にあたり



東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎

去る四月十三日（土）、日本教育会館で開催された東京都合気道連盟第二十九回の評議委員会に於いて、尾崎响前理事長の後任として理事長に選出されました。誠に身の引き締まる思いと同時に責任の重大さを感じております。

尾崎前理事長は卓越した指導力・実行力・お人柄全てにおいて都連を代表するに相応しい方です。果たしてそのような方のお引き継ぎなのか、誠に心もとなりの一言です。しかし、幸い二期五年間理事としてお側で指導頂き、勉強させていただきました。又素晴らしい理事・監事の皆様から色々と薫陶を受けました。東京都合気道連盟では、合気道そのものの他に、

様々な事柄を学ぶ機会を頂きました。本部指導部師範の諸先生ともお知り合いになる機会を得て、合気道に対する考え方や指導の考え方等々、親しく教授頂く機会に恵まれました。又、私たち合気道を学ぶ仲間が、百四十八団体という都連の仲間と知り合う事により、更に合気道の高みに至れるのかと思います。

東京都合気道連盟は四十七都道府県の中でも（公財）合気会に一番近い存在でもあり、一番協力できる立場であり、経験豊かな方々が大勢いらっしゃいます。百四十八団体の力を結集し、（公財）合気会・合気道をもり立てていく存在です。

東京都合気道連盟では、主催事業として合気道錬成大会、東京都合気道演武大会、主管事業として、東京武道館で行われる合気道広域合同稽古（本年度は全六回、既に二回終了）、合気道地域社会指導者研修と実に多くの講習の機会をご用意しています。是非各種事業に積極的にご参加をお願い致します。

最後に皆様方のご指導とご協力、ご支援をお願いし、就任のご挨拶といたします。

# 新役員紹介

	<p><b>理事長</b> <b>藤城 清次郎</b> 江戸川区合気道連盟 理事長</p> <p>三期目にして大役を拝命し、荷の重さを実感しています。皆さんと共に東京都合気道連盟の為に、誠心誠意尽くしたいと思います。</p>		<p><b>副理事長</b> <b>小林 正明</b> 江東区合気会 会長</p> <p>今期より副理事長を仰せつかり、責任を重く感じております。当連盟が益々発展しますよう頑張りたいと思います。</p>
	<p><b>副理事長</b> <b>大田 勤</b> 新小岩合気会 会長</p> <p>都連の発展のために、微力をつくして頑張ります。皆様のご協力をお願いします。</p>		<p><b>副理事長</b> <b>菅原 繁</b> (公財)合気会本部道場指導部師範</p> <p>東京都合気道連盟の更なる充実の為、頑張つてまいります。</p>
	<p><b>理事</b> <b>渡辺 隆志</b> 渋谷区合気道同好会会長</p> <p>東京都合気道連盟の発展の為、微力ながら精一杯務めさせていただきます。宜しく願い申し上げます。</p>		<p><b>理事</b> <b>美濃部 智子</b> 合気道土井道場事務局長</p> <p>東京都合気道連盟の発展のため、微力ながら精一杯務めさせていただきます。よろしく申し上げます。</p>
	<p><b>理事</b> <b>木下 悦子</b> 江戸川環七合気道クラブ 代表</p> <p>東京都合気道連盟のますますの発展の為、誠心誠意努力してまいりますので、今までと同様よろしくお願い申し上げます。</p>		<p><b>理事</b> <b>石橋 良一</b> ふれあい塾主宰</p> <p>今般、東京都合気道連盟の理事職に就任させていただきました。右も左もわからない自分ですが、精一杯務めさせていただきますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。</p>
	<p><b>理事</b> <b>嶺岸 正樹</b> 仲池合気道同好会 代表</p> <p>今回、このような大役を仰せつかり、都連の皆様方の良き発展になるように働きたいと思っております。</p>		<p><b>理事</b> <b>松本 肇</b> 中野区合気道会 会長</p> <p>東京都合気道連盟のため、微力ながら尽力させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
	<p><b>理事</b> <b>安藤 哲郎</b> 小金井合気道同好会道場責任者</p> <p>新しい風になれるよう、尽力致たく存じます。何卒、よろしくお願いいたします。</p>		<p><b>理事</b> <b>荒井 美貴子</b> 中央区合気道会理事</p> <p>初都連理事として精一杯より良い都連に成長出来るよう皆様の支えに感謝し担わせて頂きたいと思っております。</p>
	<p><b>理事</b> <b>森 智洋</b> (公財)合気会本部道場指導部師範</p> <p>連盟の業務が円滑に運ぶように、努力していきたいと思っております。</p>		<p><b>理事</b> <b>桂田 英路</b> (公財)合気会本部道場指導部師範</p> <p>合気道の発展のため頑張っていきたいと思っております。</p>
	<p><b>監事</b> <b>福島 清三郎</b> 東京武道館合気道研修会 代表</p> <p>今期より、東京都合気道連盟の監事に選任されました。少しでも、連盟のお役に立てればと思います。</p>		<p><b>監事</b> <b>堀越 祐嗣</b> 合気道堀越道場 副道場長</p> <p>皆様のご助言、ご協力を仰ぎ連盟発展のため、努力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。</p>

# 生涯スポーツ功労者の表彰を受けて

江戸川区合気道連盟理事長 藤城 清次郎

去る五月十二日東京都合気道連盟のご推薦で、(公財)東京都体育協会より生涯スポーツ功労者の表彰を頂きました。大変重い表彰で大変恐縮すると同時に、責任の重大さを痛感しております。

思い出しますと、大学ではじめて空手が卒業後のサラリーマン生活で、稽古と道場通いの時間がとれずにおりました。偶々、近くの体育館で目にした合気道に軽い気持ちで入会したのが、江戸川区合気道連盟でした。これが合気道との出会いでした。当時、山口清吾師範が時折お見えになりご指導頂きました。ごく普通のおじさま(失礼ですが)に見えた山口師範の偉大さを全く理解できず、今にしてみればもつと真面目に教えを頂いていればと後悔しております。日頃、今は亡き石井輝先生(後に八段位)、小出武夫先生(現八段位)にご指導頂きました。

当時このように永く続けられるとは思っていませんでした。稽古前の厳しい準備運動に音を上げ、稽古に行くのが気が重



く感じた事は再々でした。一緒に稽古をしていた仲間も段々抜け、石井先生と私と二人と言ふ事もありました。細く永く続けてこられたのは、偏に、石井、小出両先生のおかげと思っています。

ごく普通の稽古人であつた私が、やめずに合気道を続け気がついたら四十年以上を経過していました。今このような大変立派な賞を頂けるとは、思ってもおりませんでした。愚直に続ける事で結果がついてくる事を子供達や道友の皆さんにも理解して頂けたらと思います。

これからは、更に精進し東京都合気道連盟の為に、又、地域の為に少しでも恩返しが出来るように努力したいと思えます。

最後にになりましたが、今日までご指導頂いた、故石井輝師範、小出武夫師範更に非力な理事長を支えて頂いた江戸川区合気道連盟の役員や会員の皆様、尾崎前理事長はじめ都連役員の皆様に御礼を申しあげたいと思います。

# 生涯スポーツ優良団体

東大和市合気道会 吉川 五郎

この度、東京都体育協会より「生涯スポーツ優良団体」の表彰をいただきました。東京都合気道連盟をはじめ、ご推薦いただきました皆様にお礼申し上げます。

東大和市合気道会は、昭和四十三年飯田茂師範により設立され、飯田師範没後昭和五十九年合気道小林道場(現小林保雄総師範)の傘下団体となり、昭和六十三年の創立二十周年には、植芝守央本部長(現道主)に、平成二十年の創立四十周年の記念演武大会には、三代目道主植芝守央先生に花を添えていただき、本年式典こそ計画していませんが、創立四十五周年を迎え、市内東部地区に道場を開いて十周年を迎える団体です。

本年四月から婦人クラスを対象に毎週水曜日の午後、教室をオープンしました。毎年例年行事として、春には「野外稽古」、夏には「バーベキュー大会」「合宿」、秋には「合気道演武大会」を実施してまいります。例年行事以外にも、本年、一



般を対象に「第十回合気道初心者講習会」、女性を対象に「第六回女性のための護身術講習会」、子供クラスを対象に「第三回親子ファミリー教室」、小学校六年生を対象に「第二回卒業生記念演武大会」等を企画しています。小林保雄先生の「一人でも多くのひとに合気道を」を実践し、さらに合気道普及に頑張っています。

開祖の「迷つたら基本に返れ」の教え通り、徹底して基本技の研鑽に努めています。体術の稽古が中心ですが、剣杖も取り入れ、幅広く稽古しています。いろいろ工夫しながら、毎回さわやかに汗をかいています。

まだ早いですが、来る創立五十周年の記念演武大会祝賀会には、「植芝守央道主を再度お招きしよう」を合言葉に精進すると同時に、一人でも多くのひとに合気道の良さを普及させ、また青少年育成を通して地域貢献にも頑張つて参ります。ありがとうございます。

# 東京都足立区地域社会指導者研修会

二月一日から二月二日の二日間に亘り、東京武道館にて、今年度最後の地域社会指導者研修会となった東京都地域社会指導者研修会が開催された。中央派遣講師として大澤勇人本部道場指導部師範、地元講師として立木幸俊国際武道大学准教授、尾崎响東京都合気道連盟理事長を迎え、行われた。

両日ともに午前は一時間半の実技、午後は一時間半の講義ののちに一時間半の実技が行われ、大澤師範が四クラスの実技、立木准教授、尾崎理事長が一クラスずつ講義を行った。参加団体数は五十五団体、参加人数は約百九十二名となった。

研修会の開会に先立ち、主催者側から島村宜伸日本武道館常任理事、長達矢東京武道館館長、主管団体から尾崎理事長、



講師側として大澤師範より挨拶があった。島村常任理事は「この研修会を通じて、素晴らしい合気道を次世代に伝えることに邁進していただきたい」と挨拶した。

大澤師範は、稽古では構え、単独動作、転換法から始まり、逆半身片手取り、正面打ち、肩取り、後ろ両手首取り、諸手取り、両手取りなどの基本的な技を中心に稽古が展開された。

稽古は皆しつかりと集中して取り組み、いろいろなことを吸収しようとする真摯さを感じた。講習終了後、長館長より参加者代表に修了書が渡され、

大澤師範より全体の講評があった。最後に、木村岳史東京武道館課長より終了の言葉が述べられ、研修会は終了した。

# 平成二十五年年度東京都合気道錬成大会

平成二十五年年度東京都錬成大会は、六月九日(日)栗林孝典本部道場指導部師範をお招きし、綾瀬の東京武道館で行われた。四十団体、百九十九名の参加者があった。



うに抜いた力を掛けていいか、また自分の中で邪魔している力を感じて欲しい。」など身体と心の面からもそれぞれの技を説明され、特に片手取り入り身投げにおいて

は、「合気道の動きは攻めの線上に一つではない、技は相対的早さ、角度により早くも遅くも見えたりする。」と同じ技を何通りか状況を変え懇切丁寧に説明された。

藤城理事長より開会挨拶と栗林師範の紹介があり、続いて栗林師範から「本日、多数参加頂き、前回の全日本大会に於いても大変有難うございました。今日は普段段緒に稽古されていない方々が、同に会して稽古されることは、大変意義のある事と思います。」と挨拶があり、講習に移った。

講習は、午後二時よりまず準備体操を約十分かけ、入身転換に始まり、「人体は骨と関節から成り立っている。そこへどのよ

呼吸法と予定通り午後四時に終了した。

午後五時十五分より日本教育会館で情報交換会が行われ、和気あいあいのうちに終了した。

### ① 荒川合気道同友会

会長 綿引 徹



当会は、平成二十一年、荒川区で発足をし、今年で四年目を迎えます。「ゼロからのスタート」ということで、発足してから半年程は、会員がゼロという状況が続きました。

その後、会員が「一人増え、二人増え」というように、徐々に増えていき、現在では、二十名程の会員が在籍をし、「稽古を行っております。」

稽古は毎週金曜日・土曜日の週二回行っております。しかしながら、ほとんど会員が合気道の経験もなく、また、週一回の稽古参加ということあって、いまだ有段者がおられません。そのため、「基本を大切に」をモットーに稽古に取り組んでおります。

また、指導をしている私自身もまだまだ未熟者ですので、会員と一緒に成長していきたいと考えております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### ② あおぞら合気道

代表 小松 茂夫



本道場は、二〇一一年十二月一日に東京都調布市の地元出身の有志が中心となり開設されました。

小学生から六十歳過ぎの男女が楽しく稽古しながら、心身を練磨していくことを目的としています。

通常の稽古は、木曜日の夜に多摩川児童館、土曜日の午後に西調布体育館で行なっておりますが、幡ヶ谷にあるJICA合気道部や品川区にあるふれあい塾とも友好関係にあり、ときどき稽古をこいっしょさせて頂いています。

稽古内容は、柔軟体操に始まり、体捌き、受身など基本の稽古から応用まで各自のレベルに応じて飽きないように、また進歩するように心がけながら行なっております。

まだ開設してまもない道場ですが少人数でわきあいあいとやっています。

関係者の皆様には今後共々指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### ③ 合気道本所多田塾

代表 横山 喜一



当道場は(公財)合気会本部師範 多田宏師範が主宰する「合気道多田塾」の傘下道場で、平成十八年に稽古会を開始、四年後に新設された墨田区総合体育館武道場に稽古場を移し、現在に至っています。JR総武線、メトロ半蔵門線「錦糸町駅」から徒歩五分の墨田区立錦糸公園内にあります。

「本所」とは、明治十一年に東京市に誕生した「本所区錦糸町」の地名です。平日の昼間が稽古時間ですので、道場生は、自営業者、主婦、学生が主となっています。

稽古内容は、気の練磨、基本動作、技については「合気道多田塾」の稽古方針とし、東洋伝統の各種呼吸法によって、生命力を高める事を最も重要な基礎とし、合気道を通し、自らの発展向上に励むように行っております。

本年一月に連盟加盟を、また四月に(公財)合気会公認道場の認定をしていただきました。

今後とも宜しくお願い致します。

### ④ 村松楽器合気道倶楽部

代表 天野 浩



設立は一九七六年五月。村松楽器販売株式会社の社員のためのクラブとして新宿本社内にて発足、社内武道場を設置してスタートする。

合気道本部より安野正敏師範を招いて週二回の稽古を開始。

参加部員十数名、外部からの参加もあり、ビル側の都合による道場閉鎖までの二十数年間、社会人団体として活動。その後、渋谷区合気道同好会、荻窪合気道同好会、大泉合気同好会などと合流して稽古を続けている。毎年二泊三日の夏季合宿を実施、また毎年日本武道館で行われる合気道演武大会に社会人団体として参加している。柔らかく、しかも強く、百パーセント自分を出し切る動きを指導される安野師範のもと、合気道の本質に近づくことを唯の目標として稽古を続けて三十七年余り、常に基本に立ち返ることをモットーに、徹底的にムダを省いた動きの中に新たな気付きを発見すべく稽古を続けている。